

■ ブナの花が咲いています！ ■

花が咲いただけでニュース？と思われるかもしれませんが、年によって咲いたり咲かなかったりする植物はたくさんあります。ブナもその一つで、数年に一度大豊作の年を迎えることで知られていますが、花も毎年咲かせる訳ではありません。

植物には、花や実を毎年つけることでなるべく子孫を増やし確率を上げるもの、ある程度エネルギーを貯めてから花や実をつけることで効率よく子孫を増やすもの、など、種類によっていろんな作戦があるようです。

植物は主に葉でエネルギーを作りますが、花や実をつけるには消費が多く、普段以上にエネルギーが必要なのです。



花をつける年のブナは、他の年に比べて葉が少ないことがほとんどです。花をつけない年は、芽の中に葉だけが入っているのですが、花をつける年は、ほとんどの芽の中に葉と一緒に蕾も入っています。

花や実を毎年は作らず、そして、エネルギーが必要なはずの花のつく年に葉を減らして花を咲かせる、それがブナの作戦なのかも知れません。

去年は様々な実が大凶作の年でしたが、今年はブナをはじめ森の実が豊作の年！となるのでしょうか…?!

■ こんなの見なかった？ ■

裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

裏磐梯も雪が融け、新緑が楽しめる時季になりました。足元にも緑、頭上にも緑が広がり、冬とは全く違った景色を堪能することができます。

散策中に足元を見てみると、数字の「9」のような形をした”何か”がいくつかがたまって生えています。ゼンマイそっくりですが、ゼンマイと比べると大きくて太く、さわると痛そうな茶色い毛が生えています。裏磐梯ではあちこちで見ることができます。

さて、その”何か”とは一体何でしょう？

- ①ウサギのフン
- ②テントを張るための杭
- ③ブナの芽
- ④探勝路の目印
- ⑤オシダ



正解は⑤のオシダというシダ植物です。生長すると葉が噴水のように広がっていきます。両手では抱えきれないくらい広がるものもあり、その大きさにびっくり！たくさん生えているとさらにびっくり！！

どうしても綺麗な花や木々の新緑に目を奪われがちになるかもしれませんが、足元のシダ植物に目を向けてみるのも面白いですよ。ぜひ、色々な形のシダ植物を見つけてみてください！